



ファンドマネージャー 秋野 充成の AKINO REPORT



代表取締役社長 秋野充成

 いちよしアセットマネジメント

FM 今週のポイント (10 月 13 日)

＊日経平均株価は 6 日に 70798.62 円まで上昇、7 万円の大台を回復しました。その後、3 日続落して 68000 円近辺まで下落しました (9 日終値では 69000 円台を回復)。相変わらず、ボラティリティが高い日本株市場です。中東情勢 (原油価格高止まり)、日米欧の中銀スタンス、世界的な金利上昇継続、AI ストーリーの揺れ (期待と懸念が交錯)、高市高圧経済政策の行方、等々、複雑で難解な事象が絡み合っているため、仕方がないことなのでしょう。8 日には米国市場で、オープン AI の売上高が当初見込みを下回るとの報道から AI 関連銘柄が軒並み下落しました (英 FT によると、オープン AI の年換算売上高が、9 月末時点で 500 億ドル (約 7 兆 8,935 億円) 近くに達していたという。9 月下旬には同紙などが、9 月末の年換算売上高を約 700 億ドル (約 11 兆 509 億円) と報じていた。今回伝えられた数値は、その報道値を下回る)。ただし、売上高見込みの差異は基準の問題のようで、オープン AI の事業実態に変化が生じているわけではありません。実際、9 日には、米国株式市場で AI 関連銘柄が買い直され、日本時間でも日経平均株価が急速に反転しました。センシティブな反応は、市場参加者のリスク許容度の低下、先高観の喪失ではなく、目線の短期化であると思われます。

＊マーケットにおける当面の最大テーマ (転換点) は、11 月 3 日の米中間選挙です。10 日の Polymarket によると、米中間選挙で民主党が上院を制する確率は 63%、民主党が下院を制する確率は 91% となっています。おそらく、民主党が上下両院を制する可能性が高いと思います。その場合、米国株式市場は、金利は、為替は、その影響で日本株市場の行方は? 想定が非常に難しい状況です (40 年近くマーケットを観ていますが、最高の難度であることは間違いありません)。マーケットにおいては、同時に行われる州知事選挙で、民主党が優勢となると AI 開発の規制強化への懸念から株式市場にネガティブに働く可能性があるとの見方。ただその一方で、米国によるイラン攻撃継続のための予算が成立せず (米議会の反対)、米イラン軍事紛争が終焉に向かうとの期待から株式市場にポジティブに働く可能性があるとの見方。トランプ大統領のレームダック化で、不確実性が低下して、株式市場が大幅に上昇するとの見方、等々、さまざまな見解が存在します。

＊ロシア・ウクライナ戦争が継続する中で、イスラエルと米国の対イラン戦争も終わりが見えず、原油価格は高止まり、インフレ圧力は強く、世界的に金利上昇傾向が顕著です。このような状況の中で、株式市場が最高値圏を維持していること自体、不思議なことです。この株高現象には、トランプ大統領の貢献が大きいと思います。トランプ大統領の主張・政策・政治手法は世界の政治・経済に不確実性の拡大をもたらしました。一方で、米国経済の下振れ、株価の下落を極端に嫌悪し、株高政策を推進しているわけです。これが、ボラティリティの高い上昇相場を生み出しました。いわゆるトランプ相場です。そもそも、トランプ大統領がレームダックになるのでしょうか? 普通の大統領であれば、レームダック化必然でしょう。ただし、普通ではないトランプ大統領はどうか? MAGA 岩盤層の支持率は依然として高く、分断政治の状況で、イランとの戦争も続いています。中間選挙の結果にかかわらず、トランプ大統領の存在感が希薄化することはないと思われます。逆に、濃厚な 2 年間にむけて、パワーアップする可能性も十分にあります。その場合、不確実性は一段と拡大します。株式市場はさらなるトランプ相場です。中間選挙後、トランプ大統領顕在で株式市場のボラティリティが一段と上昇する場合、再度、AI・半導体集中物色となり、モメンタム相場が復活する可能性が高いと思われます。

＊10 月中の SOX 指数最高値更新、NT 倍率 17 倍超 (17 倍を超えると一時的に上昇が加速する)、日経平均株価: 73000 円の想定を維持します。

『 重要な注意事項 』

- この資料は、市場の現状の説明資料の一部としていちよしアセットマネジメントが作成し、いちよし証券がいちよしアセットマネジメントとの営業代理契約に基づいて提供するものです。未許可での使用、複製の作成や発表は法律で禁じられております。
- この資料は、いちよしアセットマネジメントが信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて同社により作成されたものですが、過去から将来にわたってその正確性、完全性を保証するものではありません。
- この資料は、投資の参考となる情報の提供を目的としたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。
- この資料に掲載されたデータ・グラフ等は過去の実績またはシミュレーションであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。また、記載された見解等の内容はすべて作成時点でのいちよしアセットマネジメントの判断であり、今後予告なく変更されることがあります。
- 投資一任業務による有価証券投資は、株価の変動により、または発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。投資運用によって発生する損益はすべてお客様に帰属します。したがって、預貯金とは異なり投資元本が保証されているものではなく、一定の運用成果を保証するものでもありません。

○諸経費および投資リスクについて

- 投資顧問料については、契約資産に対して年金料率で最大0.4536%(税込み)の報酬をいただくこととなります。また、契約により所定の成功報酬をいただく場合があります。その他売買手数料等の間接的な経費がかかりますが、経費の総額については委託した証券会社により手数料率等が異なるため、上限額等を表示することができません。
- お客様のために行う取引については、株式、新株予約権付社債、公社債等の有価証券に投資しますので、国内外の経済・政治情勢、金利変動、発行体の業績や財務状況等の変化の影響により、投資した有価証券の価格が下落し、損失が生じるおそれ(外国証券は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれ)があります。
- 信用取引やデリバティブ取引を行う場合は、差し入れた証拠金等の金額以上の取引を行う可能性があるため、原資産となる有価証券や指数等の価格変動により、差し入れた証拠金等を上回る損失が生じるおそれがあります。また、デリバティブ取引等の額の証拠金等の額に対する比率は投資方針や市場の動向等により変化するため、その比率を事前に示すことができません。
- 諸経費およびリスクについての詳細は、契約締結前交付書面をよくご覧ください。

商 号 等： いちよしアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第426号
加入協会： 一般社団法人 資産運用業協会